

「新宿の広告景観を考える」

～まちに似合う広告とは～

日時 平成24年10月23日(火) 午後2時～4時30分(1時30分開場)

会場 新宿区立新宿文化センター 3階 小ホール

<シンポジウム内容>

◇ 司会 進士 五十八 (美しい東京をつくる都民の会会長、
新宿区景観まちづくり審議会会長、東京農業大学名誉教授)

■ごあいさつ

◇ 新宿区長 中山 弘子

■専門家のお話

◇ 後 藤 春 彦 (早稲田大学創造理工学部長、新宿区景観まちづくり審議会副会長、東京都屋外広告物審議会委員)
◇ 太 田 幸 夫 (NPO法人サインセンター理事長、日本サイン学会理事・元会長、前多摩美術大学教授)

■プレゼンテーション

「広告景観に対する市民の声」

◇ 「美しい東京をつくる都民の会」会員

■パネルディスカッション

「新宿が目指すまちづくりと景観」

◇ コーディネーター 進 士 五十八
◇ パネリスト 太 田 幸 夫
後 藤 春 彦
中 山 弘 子 (順不同・敬称略)

<申し込み方法> 当日、直接会場へ



会場案内

新宿区立新宿文化センター

【所在地】〒160-0022 新宿区新宿6-14-1

【電話】03-3350-1141

【交通】

- JR/京王線/小田急線
 - ・新宿駅 東口 徒歩15分
- 西武新宿線
 - ・西武新宿駅 徒歩14分
- 地下鉄
 - 東京メトロ副都心線
 - ・新宿三丁目駅 徒歩6分(E1出口)
 - ・東新宿駅 徒歩7分(A2出口)
 - 東京メトロ丸ノ内線
 - ・新宿三丁目駅 徒歩11分(B3出口)
 - 都営新宿線
 - ・新宿三丁目 駅徒歩10分(C7出口)
 - 都営大江戸線
 - ・東新宿駅 徒歩7分(A2出口)



主催：美しい東京をつくる都民の会・新宿区

問い合わせ：新宿区 都市計画部 景観と地区計画課/新宿区歌舞伎町1-4-1 / ☎03-5273-3831 (直通)

パネルディスカッション参加者プロフィール（順不同・敬称略）

進士 五十八（シンジ イソヤ）



1944年京都市生まれ。農学博士。造園学・景観論。東京農業大学名誉教授。これまでに東京農業大学長、（社）日本造園学会長、（社）日本都市計画学会長、自治体学会代表、東京都景観審議会副会長、早稲田大学大学院客員教授などを歴任。現在、国の社会資本整備審議会臨時委員、自然再生専門家会議委員長、新宿区景観まちづくり審議会会長など。日本造園学会賞、読売農学賞、紫綬褒章など受賞章。著書に『風景デザイン』ほか多数。

太田 幸夫（オオタ ユキオ）



非常口
（国際規格）



広域避難場所
（国際規格）

1939年愛知県刈谷市生まれ。ビジュアルコミュニケーションデザイナー。1962年多摩美術大学卒業。同大学美術研究科およびイタリア国立美術学院修了。1964-66年イタリア留学中に視覚言語「LoCoS」を研究開発、東京造形大学助教授、ピクトリアル研究所などを経て、2010年まで多摩美術大学教授。東京屋外広告コンクール審査委員長。業績は、総務省消防庁「非常口」「広域避難場所」表示ピクトグラム（絵文字）、中央労働災害防止協会「安全標識」等。著書に『サイン・コミュニケーション』ほか多数。

後藤 春彦（ゴトウ ハルヒコ）



1957年富山県生まれ。早稲田大学創造理工学部長・教授。工学博士。早稲田大学大学院博士課程修了。三重大学工学部助教授、早稲田大学理工学部助教授等を経て1998年から同教授、2010年より現職。世界居住学会副会長、日本都市計画学会会長、日本生活学会会長などを務める。日本建築学会賞、日本都市計画学会賞、土地活用モデル大賞、グッドデザイン賞、SDA賞入賞、厚生省禁煙シンボルマーク優秀賞ほか受賞。平成15年から新宿区景観まちづくり審議会委員を務め、現在、副会長。

中山 弘子（ナカヤマ ヒロコ）



新宿区長。新宿区は、平成20年7月に都心区初となる景観法に基づく景観行政団体となり、平成21年4月から「新宿区景観まちづくり計画」の運用を開始。新宿区内全域を72エリアに分け景観形成の特性、目標・方針等を詳細に示した「新宿区景観形成ガイドライン」など新宿区独自の施策と併せ、まちの記憶をいかした『美しい新宿』をつくることを目標に、景観まちづくりの推進に取り組んでいる。

